

関西石川県人会連合会 県人会だより

2024年度 第2号

令和7年1月



関西石川県人会連合会
第9代会長 東 孝司

会長年頭のご挨拶

関西石川県人会連合会会員の皆様、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。昨年も皆さまの温かいご支援とご協力のおかげで、県人会として多くの活動を展開することができました。心より感謝申し上げます。

昨年は、故郷石川県にとって試練の年でした。一月一日に発生した能登地方を震源とする「令和六年能登半島地震」と九月下旬に「令和六年九月能登半島豪雨」が発生し、多くの方々に大きな被害と不安をもたらしました。今も仮設住宅などで不自由な生活をされている方が大勢いらっしゃいます。連合会では、義援金活動を実施し、私も募金の呼びかけをさせてもらいました。街頭では、多くの方から励ましや温かい言葉を沢山いただき、少しでも石川県の皆さまのお力になれるよう努めてまいりました。連合会のみならず、各県人会でも、能登のために支援を届けたいという思いで様々な活動をしていることを聞き、大変嬉しく思っております。

また、震災復興のため、募金活動や復興のイベント開催、様々な企業、団体の方に支援していただいています。ここに厚く御礼申し上げますとともに、そのようなご縁は決して切らず大切にしていきたいと考えてはいけな、と気持ちを新たにしております。

能登は、多くの方のご支援やご協力をいただいておりますが、被災された地域の復興にはまだ時間を要します。私たちのふるさとが再び活気を取り戻すことを願い、また、人々の記憶から風化されないよう、今後も地道にできる限り

の支援を続けてまいりたいと思います。

一方で、今年は希望の灯がともる年でもあります。関西ではいよいよ大阪・関西万博が開催され、石川県の魅力を広く発信する絶好の機会が到来しております。昨年は新幹線の敦賀開業という大きな節目を迎えたこともあり、関西と石川県がこれまで以上に近くなることで、さらなる交流が期待されています。

今年が皆さまにとって幸多き一年となることを心よりお祈り申し上げます。そして、この関西石川県人会がふるさとを懐かしみ、新たな絆を育む場所として、さらに発展していけるよう、引き続きのご支援ご協力をお願い申し上げます。

○関西石川県人会連合会 定例総会開催

関西石川県人会連合会の第六十一回定例総会が令和六年六月十五日（土）に、大阪市のホテル日航大阪で開催され、約百九十人が出席し、能登半島地震の復興支援のため、結束を誓い合いました。被災者への黙とうの後、東孝司会長は「四月に故郷の輪島市を訪問して、懐かしい景色が一変した姿を目の当たりにして、言葉がでなかった。各県人会の方々や被災者支援に協力いただいた方に感謝申し上げます。連合会でも義援金活動を実施したが、一日も早い復興復興のため、様々な活動に協力してまいりたい。」と挨拶し、竹沢淳一石川県文化観光スポーツ部長、宮下為幸中能登町長、井出敏朗能美市長、石田寛人石川県人会会長が祝辞を述べました。

懇親会では、谷内田栄次会計と京都県人会中西いつ子副会長の司会のもと執り行われ、坂本克己副会長が北陸新幹線の大阪開業に向けて結束を呼び掛け、乾杯しました。アトラクションでは、女性和太鼓チーム「DIA+（ダイアプラス）」の演奏する太鼓の音が盛大に鳴り響き、出席者を圧倒させるパフォーマンスを披露しました。恒例の抽選会では、各市町などから提供いただいた能登上布「扇子」やキャリーバックなどが景品で、当選番号の発表の度、会場が盛り上がっていました。最後は辻口信良副会長の呼びかけで、有志が壇上上がり、「いしかわ愛」を三唱し、閉会となりました。

また、輪島市や中能登町が観光土産ブースを出店して、産品を購入する参加者が賑わっていました。



知事年頭のご挨拶 石川県知事 馳 浩



令和七年の年頭にあたり、県人会の皆様にも、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

皆様方におかれましては、日頃より、ふるさと石川を気にかけていただき、昨年一月の能登半島地震や九月の奥能登豪雨の際に、多くの温かい励ましやご支援をいただきました。改めて厚く御礼申し上げます。

昨年三月には北陸新幹線が敦賀まで延伸し、五十年來の悲願だった石川県内全線開業を迎えました。また、東京駅八重洲口近くに、県の新たなアンテナショップである「八重洲いしかわテラス」がオープンし、大阪駅に隣接する大型商業施設「KITE大阪」内にも、北陸三県による関西圏での新たな情報発信拠点「HOKURIKU+」がオープンしたほか、建て替えられた久屋中ビルに石川県名古屋観光物産案内所が移転オープンするなど、食や歴史、文化など多彩な石川県の魅力を広く発信する体制が整った一年であったと考えております。

県としては、今後とも、創造的復興に全力で取り組むとともに、北陸三県連携による誘客強化や、本県の強みである多彩な文化資源を最大限に活用した文化観光の推進など、様々な取り組みを進めてまいります。

県人会の皆様には、ぜひ、里帰りも兼ねてふるさと石川にお越しいただき、その魅力を心ゆくまでご堪能いただくとともに、引き続き、石川の応援団としてご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

甚大な被害が発生した能登地域でも、観光客の受け入れを再開しているところが増えてきました。県では、「今行ける能登」と称し、観光地等の営業状況やイベント等の開催情報を発信しておりますので、本県を訪れた際には、ぜひ能登まで足を運び、復興に向けて頑張る姿を応援していただきたいと思います。

最後に、県人会の皆様にとって、この1年が希望に満ちた輝かしい年となりますよう、また、県人会の益々のご発展を心より祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

県人会活動

○東大阪市民まつり

連合会と東大阪石川県人会は五月十二日、大阪府東大阪市開催の「市民ふれあい祭り」に参加しました。東大阪市民ふれあい祭りは延べ約二十万人が来場する同市最大のイベントとなっています。東孝司関西石川県人会連合会長、木田潔東大阪石川県人会会長、京都石川県人会、関西珠洲会のメンバーなど有志約二十人が参加し、布施地区のパレードでは連合会の応援幕を掲げて、「能登半島の震災からの復興のため、ふるさと石川の応援をお願いします」と呼び掛けました。

花園地区で実施された物産展では、石川から取り寄せた「とり野菜みそ」や「チャンピオンカレー」などの特産品販売や義援金箱を設置して募金活動を行いました。



○能登互助会総会

関西在住の能登地区出身者らでつくる大阪能登互助会の総会が令和六年五月二十四日に、大阪市のホテル日航大阪で行われ、会員ら三十六人が出席しました。役員改選にて、山本三郎氏から谷内田栄次氏へ会長が交代となりました。谷内田会長は「長い歴史をもつ能登互助会とふるさと石川のため、能登半島地震で被災したふるさと復興に会員全員で協力していきたい。」と挨拶しました。東孝司関西石川県人会連合会長、宮下為幸中能登町長らが祝辞を述べました。

続いて、懇親会では、辻口信良連合会副会長、乾杯し、恒例の石川県の物産品が当たる抽選会が開催されました。中松勝彦加賀浴友会会長が万歳三唱し、締めし、閉会しました。



○関西ふるさと山中会総会

関西ふるさと山中会は、関西圏に在住し活躍している山中温泉有縁の人々を会員として、毎年六月頃に総会を開催しております。

令和六年度は「関西ふるさと山中会」総会・懇親会を六月二十三日にホテルグランヴィア大阪において、来賓として、深村富士雄加賀市副市長、東孝司連合会会長、山下幸則石川県大阪事務所長が出席し、開催しました。

開宴の前に、山中温泉の名産品「娘娘万頭」や「菊の湯たまご」、能登のお酒などを予約注文された会員にお渡ししました。総会では須谷修治会長が挨拶し、来賓の紹介、議事審議の後、集合写真撮影を行いました。

総会終了後懇親会に入り、京都で活躍中の書道家・白井嘉世子氏の乾杯に始まり、しばらく歓談後、令和五年総会で実施の「昭和四十年代の山中町」に引き続き、「昭和五十年代の山中町」の様子をスライドで紹介、次に会員の辻本昌枝氏による講演「紀伊国屋文左衛門」の名演技の後、いつものお楽しみ抽選会では、抽選の度に出席者は一喜一憂しました。

出席した会員の中には、杖や歩行カイトで来られた方々が居られましたが、また来年も元気で集まろうと約束し「山中節」に送られながら散開しました。

本会に入会ご希望の方はいつでも本会事務局へお申し出ください。

関西ふるさと山中会

会長 須谷修治（南町出身）

☎ 072-831-5508

（会長 須谷 様 寄稿）



○関西羽咋会総会

第十回の関西羽咋会の総会・懇親会は令和六年六月八日、大阪市の新大阪ワシントンホテルで開かれ、会員ら三十七人が参加しました。

総会では、上田数義会長が「羽咋市と協力して復興支援や会員拡大に取り組んでいきたい」と挨拶しました。

岸博一羽咋市長、酒井一人市議会副議長、東孝司連合会会長が祝辞を述べました。

懇親会では、池田博明羽咋市商工会事務局長、山上徹ふるさと関東羽咋会長、竹本豊彦中京羽咋会長、三井孝秀市観光協会会長（気多大社宮司）らが挨拶しました。

羽咋市からのホットなニュースの提供やお楽しみ抽選会、羽咋市歌合唱など内容盛りだくさんで無事閉会となりました。

○京都石川県人会総会

京都石川県人会の総会・懇親会は、令和六年六月二十二日、京都市の京都ブライトンホテルで開かれ、約九十五名が参加し、新年度の役員の改選や鴨川納涼祭、女子駅伝の激励会などの事業計画が承認されました。総会では、竹下義樹会長が「街頭募金など多くの方からの支援に感謝している。ふるさと石川に支援していきたい。」と挨拶しました。会では、震災被災者に対しての黙祷の後、臨席した中山由紀夫輪島市副市長へ援金二百万円が贈呈されました。



○宝達志水関西ふるさと会総会

令和六年七月十三日、関西在住で宝達志水町にゆかりのある方々でつくる「宝達志水関西ふるさと会」の設立総会が、大阪市の新大阪ワシントンプラザにて開催され、来賓を含めて約五十名が出席しました。関東では、数年前にふるさととの会が発足していましたが、関西にも、という声が上がリ、今回正式に設立する運びとなりました。

初代会長に就任した神戸市議の栗原富夫氏は、「会の活動として、ふるさと納税の推進などに取り組みたい。」と挨拶しました。

総会では、寶達典久宝達志水町長、林稔町議会議長、東孝司連合会会長、大崎繁一宝達志水関東ふるさと会長が祝辞を述べました。

懇親会では市村昭代史商工会長、川端慎二観光協会会長が挨拶し、北極星産業の北橋茂登志名誉会長（連合会副会長）の発声で乾杯しました。作詞家川原英子氏（宝達志水町出身、連合会監事）が作詞した宝達志水町賛歌が披露されるなど、新たな門出に相應しい賑やかな会となりました。



○神戸石川県人会総会

神戸市や兵庫県在住や勤務者らで構成される神戸石川県人会の第十九回総会・懇親会が令和六年七月五日、神戸市のホテルモントレ神戸で開催され、会員ら三十名が出席し、懇親を深めました。役員改選にて、再任された能川弘文会長が挨拶、東孝司連合会会長らが挨拶しました。懇親会では、米田喜憲京都県人会副会長の乾杯発声で開会し、伝統工芸品や特産品の当選する、毎年恒例の抽選会も実施され、会場は大いに盛り上がりました。越村一雄副会長が中締めして閉会となりました。



○北大阪石川県人会総会

北大阪石川県人会の総会・懇親会は令和六年七月二十日、大阪市の新大阪ワシントンホテルプラザで開催されました。来賓含めて約五十人が出席し、懇親を深めました。

総会では、兵庫達夫会長が挨拶し、東孝司連合会会長、井上作雄連合会名誉会長らが祝辞を述べました。会の中で、兵庫会長からの会の発展に貢献した会員に感謝状と記念品贈呈がありました。

懇親会では、谷内田栄次能登互助会会長が乾杯の発声をして、社会人落語家の喜怒家哀楽氏のアトラクションや兵庫会長の発案による石川県産品詰め合わせセットが当たる即席抽選会も実施し、参加者は大いに楽しんでいました。最後は辻口信良副会長による「いしかわ愛」の三唱で中締め、閉会となりました。



○東大阪石川県人会総会

東大阪石川県人会の第十一回総会は令和六年九月二十八日、東大阪市の東大阪石切温泉ホテルセイリウウで開かれ、来賓含め五十二名が参加しました。

震災と豪雨の被災者に対する黙祷の後、木田潔会長が挨拶の後、東孝司連合会会長、石田雅浩北國新聞社大阪支社長が来賓挨拶をしました。懇親会は島俊治副会長の発声で乾杯し、約二時間にも渡る参加者のカラオケ大会で会場が盛り上がりました。最後に、辻口信良関西県人会連合会副会長が「いしかわ愛」を三唱し、閉会となりました。



○関西輪島会総会

関西輪島会の第四十二回総会・懇親会は令和六年十月二十七日、大阪市の新大阪ワシントンホテルプラザで開かれ、会員ら四十四名が参加しました。

総会では、被災者への黙祷の後、兵庫達夫会長は「総会を開催するかどうか迷ったが、輪島の現状を知り支援につながる機会にしたかった」と説明し、玉岡了英輪島市議会議長、久岡政治輪島商工会議所会頭も地元から駆け付け、挨拶しました。

懇親会では、坂本哲東京輪島会会長、堀義博東海輪島会会長らが挨拶し、災害復興を目指す故郷輪島を偲びました。会場で集まった義援金は、玉岡議長と久岡会頭へ贈呈されました。



○関西珠洲会総会

関西珠洲会は、従来の総会・懇親会を「のと復興応援の集い」とし、従来の形式を大きく変更して令和六年十一月十七日、大阪市のシティプラザ大阪で開催されました。

宮崎和夫会長が「復旧、復興には長い時間がかかる。そのため、皆さんの協力を引き続きお願いしたい」と挨拶しました。泉谷満寿裕珠洲市長が近況を報告し、東孝司連合会会長が挨拶しました。

川端孝大谷小中避難所本部長が、発災から現在について講演し、馬縹キリコ太鼓が披露されました。番匠雅典珠洲市議会議長の発声で乾杯し、会では新入会員となった関西への避難者の紹介とともに、当時の状況のインタビューや既会員との懇談会も実施され、出席者は、当時の悲惨な被災状況を再認識するとともに、地震と豪雨からの被災者支援に向けた結束を固めました。



○白山市関西ふさと会懇親会

関西松任会、大阪白山会、関西鶴来会の三合同の懇親会となる令和六年度白山市関西ふさと会懇親会は、令和六年十一月十七日大阪市のホテルガーデンパレスで開催され、来賓を含め二十四名が出席しました。関西松任会の安実吉文氏司会のもと、大阪白山会会長代理の池上清功氏が開会挨拶を行いました。地元から駆け付けた、尾崎誠白山市副市長、澤田昌幸白山市副議長、長基健司鶴来商工会会長が来賓挨拶しました。山下幸則石川県大阪事務所所長が中締め万歳三唱して、閉会しました。

○県人祭 in 大阪

関西在住の石川県出身者や県ゆかりの人が一堂に集う「第四回いしかわ県人祭 in 大阪」は令和六年十一月二十二日、大阪市のリーガロイヤルホテル大阪で開催され、これまでの最多の五百九十四名が出席しました。最初に、前田家十九代当主の前田利宜氏が「これから石川を応援していく」と開会宣言しました。

続いて輪島市出身の寄席三味線奏者、豊田公美子さんの出囃子披露や上方落語協会会長の笑福亭仁智氏のトークショーが行われました。

北國新聞社の砂塚隆広社長や実行委員長の東孝司連合会会長の主催者挨拶の後、馳浩知事が「関西の皆様には、震災以降、本当にお世話になっていて、ふるさとの思いを語り、能登半島の復活を願いたい」と祝辞を述べ、村山卓金沢市長の発声で乾杯しました。

石川産鱈や能登豚、加賀蓮根など県産の旬の食材をふんだんに使用したコース料理や地酒が並びました。辻口信良連合会副会長の「いしかわ愛」を馳知事から来賓ら有志で三唱し、坂本克己連合会副会長の挨拶で閉会しました。

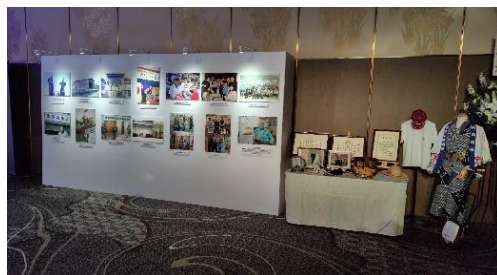


○井上作雄名誉会長お別れの会

令和六年八月二十二日に九十四歳で逝去された井上作雄名誉会長のお別れの会が、令和六年十一月七日、大阪市のリーガロイヤルホテル大阪にて連合会主催で執り行われました。

式典では、多くの生花が会場の周りを囲み、昭和三十三年に大阪で大裕鋼業を創業し、社長、会長、相談役を歴任し、県人会活動では、二〇一七年に連合会会長の就任以降、多くの県人会組織の設立に尽力し、六年もの任期を全うし、令和五年から名誉会長となった故人の影響の大きさを感ぜられました。

東孝司連合会会長の謝辞のあと、長男浩行氏ら子三名の挨拶では、故人の柔和で誰にも愛される性格が垣間見える私生活でのエピソードが披露されました。捧花の後、故人が大好きであった紅茶で献茶し、県人会活動写真や趣味の三味線が展示されている会場で、参加者は故人の思い出話に花を咲かせていました。



関西だより

○第七回関西石川県人会連合会ゴルフコンペ

第七回関西石川県人会連合会ゴルフコンペは令和六年九月十三日、大阪府池田市の伏尾ゴルフ倶楽部で六組二十一名が参加して盛大に行われました。

優勝は山本幸雄氏（大阪市石川県人会）準優勝は角田晴夫氏（関西珠洲会）三位は衣川恵理子氏（石川県人会連合会）でした。

コンペ後、倶楽部のコンペルームで実行委員長の上田敦義氏から山本幸雄氏に優勝カップが贈呈されました。

今回は、東孝司連合会会長のメンバーコースで開催ができ、今後共お願いできればと考えております。

さて、コンペでの最大の目的である会員相互の親睦を図れたことで、今後も連合会ゴルフコンペを開催し、石川愛を推進していきたいと思っております。



○夏の甲子園応援

第百六回の全国高校野球選手権大会は、三年ぶりに小松大谷高校が出場しました。令和六年八月六日に宿泊先のホテルを辻口信良連合会副会長以下三名が訪問し、「一戦必勝の気持ちで頑張ってください」と連合会を代表し激励しました。

一回戦は、大分県代表の明豊高校と対戦し、十六安打と小松大谷打線が奮起し、八対四で悲願の甲子園初勝利を挙げました。二回戦では、甲子園九度優勝の強豪校大阪府代表の大阪桐蔭高校と対戦し、小松大谷エースの先発西川投手が、五安打に抑えて見事に完封。三対零で勝利しました。石川県に悲願の優勝旗を、と期待しておりましたが、三回戦の奈良県代表智弁学園高校には、三対六で敗れ、惜しくも八強入りを逃しました。連合会では、例年以上の炎天下でジリジリと体力が奪われる中、三回戦では、30名もの大応援団を結成し、アルプススタンドから、球児に惜しめない声援を送りました。



三回戦奈良県代表智弁学園高校戦の前に

市町だより

○金沢市

2004年に開館した金沢21世紀美術館は、昨年20周年を迎え、現在、展覧会をはじめ様々な開館20周年記念プログラムを開催しております。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

○七尾市

能登半島地震の影響で休館中だった能登演劇堂が今年の三月から舞台公演を再開します。

令和七年三月五日～三月二十三日
吉岡里帆・蓮佛美沙子W主演舞台
「まつとおね」

令和七年五月三十日～六月二十二日
仲代達矢・無名塾の舞台
「肝っ玉おっ母と子供たち」

どちらも能登演劇堂のみの限定公演となります。詳しくは能登演劇堂ホームページをご覧ください。皆様のお越しをお待ちしております。

○小松市

小松市では、北陸電力グループが建設する、今年完成予定の「小松駅東地区複合ビル」五階フロアを借り受け、入居オフィスを募集しています。

新しい産業や女性・若者にとって魅力ある雇用創出の実現のほか、小松大学との連携、周辺施設等との連動でビル周辺が、新たな価値が創造されるイノベーションエリアとなるよう期待しています。

小松駅から徒歩1分という優れた立地環境を活かし、「産業創生都市こまつ」の実現に向けて、多くの企業の進出をお待ちしています。

詳しくは、小松市産業創生室まで
お問合せください。
☎（0761）2418074



小松市HP



能登演劇堂
チケット予約



能登演劇堂HP



完成予定図

○加賀市

令和六年十二月一日に加賀温泉駅の高架下に、加賀温泉駅にぎわい交流施設「ゆのまち加賀」がオープンしました。

「ゆのまち加賀」は、本市を訪れた観光客に地域の観光情報を提供する観光情報センターのほか、電車の発車時刻までの間、くつろいで過ごすことができる待合室や賑わいを創出するための飲食等ブースに加え、ポップアップストアなどの利用ができるにぎわい交流スペース等を整備しております。

また、山代、山中、片山津の三つの温泉郷と伝統工芸といった加賀文化の発信拠点と捉え、施設内の様々なところで加賀市の魅力を表現しております。北陸新幹線加賀温泉駅開業に続く、第二弾としてさらなる賑わいが生まれることを期待しております。



千里浜インター周辺に整備した千里浜ヒルズ分譲地は、販売開始後、早々に完売になりました。宅地分譲や子育て世代への各種支援策が若い世代への定住を促し、羽咋市の統計史上、初の転入超過となるなど明るい兆しが見えてきました。今後も切れ目ない定住促進を図るため、新たな宅地分譲を進めていきます。

また、令和六年七月、羽咋駅西側にオープンした、にぎわい交流拠点

LAKUNAはくいは、文化観光やスポーツ、音楽などをテーマにイベントを開催し、こどもから高齢者まで多くの方々で賑わっています。

羽咋市にお越しの際には、ぜひお立ち寄りください

そのほか、市公式LINEにてイベント情報や市の役立つ情報を配信しますので、ぜひご登録ください。



羽咋市
公式LINE

○かほく市

令和六年四月、とり野菜みそBLUECATS ARENA（かほく市総合体育館）がオープンしました。市の主要産業である「繊維」をモチーフとし、施設内外に「紡ぐデザイン」を取り入れたつくりとなっており、館内はアリーナ、弓道場、柔剣道場、トレーニングルーム・スタジオを備えています。当市を本拠地とする女子バレーボールチーム・PFUブルーキャッツ石川がほくのホームゲームをはじめ、卓球やバスケットボールのプロスポーツ公式戦も行われています。

また、SVリーグでは初開催となるオールスターゲームが令和七年一月二十五日（土）・二十六日（日）に予定され、日本全国の注目を集めることとなります。

かほく市の公式インスタグラムでも、市の情報や日々の出来事を投稿しておりますので、ぜひ皆さまご登録をお願いします。



かほく市公式
Instagram

○白山市

令和七年二月一日の市制施行二十周年を記念して、昨年十月から市内各地で様々な催しを開催しています。今年は、二月の「白山市制施行二十周年記念式典」、三月は初開催の「いいとこ白山あさがお馬拉ソン」、九月には「全国山城サミット」と目白押しで、このほかにも多種多彩な催しを予定しています。

昨年三月オープンの「白山市立高速鉄道ビクターセンター・トレインパーク白山」では、新幹線の点検用車両「ドクターイエロー」の常設展示を今年五月より予定しています。「幸せの黄色い新幹線」と呼ばれる貴重な車両の公開に期待が高まります。

○野々市

市花木ツバキを介して野々市の春を彩る『花と緑ののいち椿まつり2025』を令和七年三月十五日（土）・十六日（日）に野々市市民体育館を主会場として開催します。数百種類に上るツバキの切り花や華道協会による生け花作品、ツバキをモチーフとした美術文化協会や公募

の芸術作品などが所狭しと並びます。文化協会各団体のステージ発表や地元逸品が買える特産物市も見逃せません。茶席や飲食コーナー「つばき食堂」で、お腹も心も満たされること間違いなしです。ふるさとの魅力いっぱい『花と緑ののいち椿まつり2025』へ、ぜひお越しください。



○津幡町

開園五十周年を機に石川県森林公園内がリニューアルされ、令和六年四月にいしかわ動物愛護センター「しっぽのかぞく」がオープンしました。屋根付きエリアを備えたドッグランは、北陸最大級の広さを誇ります。

また、雨や雪の日でも安心して遊べる全天候型遊び場、屋内木育施設「もりのひみつきち」も同年七月にオープン。県産木材をふんだんに使った大型遊具は、子どもたちがワクワクする工夫が盛りだくさんです。

四季折々の自然と新施設の魅力が満載の森林公園。

津幡町にお越しの際はぜひ立ち寄りいただき、自然と癒しのひとときを過ごしてください。



○穴水町

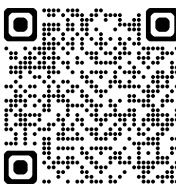
穴水町の公式LINEアカウントを開設しました。イベント開催の情報や防災情報、毎月発行している「広報あなみず」など、穴水町に関する情報を発信しています。

また、穴水町公式Xも開設しました。LINEと同様の情報発信に加え、穴水町であった出来事や日常の様子を発信しています。

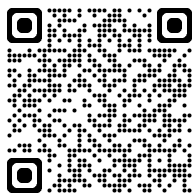
さらに、穴水町公式ホームページもリニューアルし、より見やすく、知りたい情報を簡単に検索できるようにしました。



穴水町公式LINE



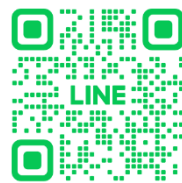
穴水町公式X



穴水町公式HP

○志賀町

令和六年十月から、志賀町LINE公式アカウントをリニューアル！情報登録フォームを入力すると、志賀町の情報をお届けします。毎月発行の「広報しか」などもお知らせします。ぜひ、登録をお願いします。



志賀町公式LINE

○能登町

関西石川県人会連合会会員の皆様、能登半島地震・奥能登豪雨において多大なるご支援いただきありがとうございます。

町は皆様をはじめ、全国のご支援いただきながら復旧復興に全力で取り組んでおります。

復旧・復興に取り組む中、昨年十二月、国連教育科学文化機関（ユネスコ）の無形文化遺産に「伝統的酒造り」が登録されました。

能登町の3つの酒蔵は、能登半島地震で深刻な被害を受け、再建途上にある酒蔵もありますが、この登録を「最高の後押し」と喜び、酒造りへ一層力が入っています。日本酒はお神酒とよばれ能登地域において本当に大切なものです。

無形文化遺産登録後、皆様の支援に感謝し造られた日本酒をぜひ味わってください

○宝達志水町

令和六年七月に「宝達志水関西ふるさと会」が発足し、故郷の発展に貢献することや能登半島地震の復興支援に取り組むことなどを誓い合いました。

総会後に行われた懇親会では、花咲ひみこ氏作詞の「宝達志水町賛歌」を斉唱し望郷を分かち合いました。会場は会員同士が再会を喜び合い昔話に花を咲かせたり、新たな出会いの場面が見られたりと大いに盛り上がりしました。

次回の総会の日程及び会場も決定しました。

【日時】令和七年七月十三日（日）
午前十一時三十分から
午後十一時開始（受付十一時開始）

【会場】新大阪ワシントンホテルプラザ（新大阪駅から徒歩五分）

会員及び総会の参加者を募集しています。ご希望の方は宝達志水町商工観光課までお問合せください。
076712918250



令和六年七月の設立総会にて

○川北町

町営住宅「サンハイム三反田」



宝達志水町公式HP

人とまちをつなぎ、地域のコミュニティの活性化を生む集合住宅となるよう、町営住宅「サンハイム三反田」の建て替えを行い、令和七年一月に完成します。

三十八世帯が入居でき、そのすべての住戸が中庭の公園を臨む開放的な建屋となっております。建物内に集会所があり、住民が集う場所も整備しました。

若者の定住促進と地域の活性化につなげていきたいと考えています。



完成予定図